

The Transactions of the Kansai Entomological Society

Vol. X. Pt. 2.

December, 1940

内地にて初めて発見せられたる擬青蜂科 の2新種に就いて 戸澤信義

Two new species of *Cleptes* (Cleptidae, Hym.)—the first
record of the family from Japan proper.

NOBUYOSHI TOSAWA

日本に *Cleptes* があるかと言ふ疑問は長らく若い蜂學者の念頭を去來しておつた問題である。然るに筆者は 1926 年以來既にこれが解決の鍵を握つておつたのであるが、如何にせんこの鍵は些さか貧弱にして且不完全なる標本であつた爲に雌雄揃つた若干の標本を持ち乍らこれが發表を躊躇しておつた。所が最近佐藤納君によつて新鮮なる 2 雌 3 雄標本を得、然かも從來筆者の所持せるものと別種なるを確め、こゝに 2 新種の記載を爲す事を得たるは衷心愉快とする所である。これを機會に貴重なる標本を惠與せられたる學友佐藤納君の御好意を厚く感謝する。

Cleptes LATREILLE (1802) はその創生以來 CHRYSIDIDAE の type-genus なる *Chrysis* LINNÉ (1767) とは附かず離れず常に對蹠的なる關係に於て取扱はれ、これを tribus として分けたるものに *Cleptiosa* LATREILLE (1802), *Cleptida* LEACH (1815), *Cleptina* THOMSON (1870), 等あり。subfamily として別ちたるものに *Cleptinae* AARON (1885), CRESSON (1887), CAMERON (1888), MOCSARY (1889), DALLA TORRE (1892), ASHMEAD (1902), BINGHAM (1903), 等あり。別科として取扱ひたるものに CLEPTIDAE DAHLBOM (1854), DU BUYSSON (1896), BÖRN (1919), COMSTOCK (1925), HANDIRSCH (1925), TRAUTMANN (1930), HEDICKE (1930) 等がある。

是等を CHRYSIDIDAE の 1 tribus 又は 1 subfamily として取扱ひたる思想の中には ① 腹節 3—4 (稀に ♂ 5) 節, ② 産卵管は管状, ③ 躰色の金屬光澤, ④ 1 腿節環, ⑤ 前胸背後縁の翅底板と連絡せざる點等の共通せる性質を重視せるによるものにして, 斯かる場合 *Cleptes* の屬する tribus 又は subfamily が他と區別せられる特徴は ① 腹面節が膨出せる事, ② 縦溝を缺く事, ③ 腹節數 ♀ 4, ♂ 5, ④ 前胸背に横溝ある等の點を擧げられておる。

然して別科として區別せらるゝ要點は上述の體徴の外に ① CHRYSIDIDAE の多くの種は EUMENIDAE, SPHEGIDAE の巢を攻撃して其中に貯へられたる蛾, 甲蟲等の幼蟲, 蜘蛛類或ひは是等を食つて成育すべき寄主なる蜂の幼蟲を食餌として攝取する習性あるに反して, CLEPTIDAE にては TENTHREDINIDAE (例へば Nematinae) の繭に産卵し, 幼蟲は純粹の寄生生活をなせる點並びに ② 他の Aculeata と同様な毒腺を有せる點等を重視せるものと思はれる。

元來 *Cleptes* を含める廣義の CHRYSIDIDAE, 或ひは CLEPTIDAE を包含せる Tubulifera⁽¹⁾ 又は Chrysoidea は suborder Parasteca と Aculeata の境界をなせるものにて, ① *Cleptes* 等の純寄生性なる事, ② 産卵管の顯出せる事等により前者との近縁を示せるも他方 ③ 腿節環の 1 個なる事, ④ *Cleptes* 等の毒腺を有せる事よりして後者により多く接近せるを認められ, 依つて Aculeata に隸屬せしめられておる現状である。

然るに *Cleptinae* のみを BETHYLIDAE に隸屬せしめたる學者あるは翅脈の標徴が如何にもよく酷似せる點に據るものにして, 他の特徴を無視せる點よりして筆者はこれに同意し難い。(H. BISCHOFF, 1910 T. UCHIDA, 1926)

Family CLEPTIDAE DAHLBOM

せいぼうもごき (擬青蜂)⁽²⁾ 科 (新稱)

Hym. Eur. II. Chrysis, Berlin. 1854. p. 8.

標徴: 前胸背は通常長く前方に於いて狹まる。附節爪の下部中央に近く 1 齒あり。前翅中室の末端は明瞭に截斷せらる。腹部は兩面とも膨出し, 4—5 腹節を現出す。

(1) 管状の組立なる意味。殘餘の腹節が管状に化し, テレスコープの様に穿まりこみ, 産卵管はその中に納めらる。この標徴を以て CLEPTIDAE と CHRYSIDIDAE は Superfamily として一括せられる事がある (LATREILLE 1809, BINGHAM 1902 等)。

(2) *Cleptes* = $\chi\lambda\epsilon\pi\tau\eta\mu\epsilon$ は fur 即ち小盜賊の意, 恐らくその習性を暗示したる名稱ならんも適譯を得ずして青蜂に似たる體徴より命名したり。

HANDIRSCHE (1925) によれば4属40種ばかり知られ、舊北洲及び米大陸に分布すると言ふ。従来朝鮮から *C. galloisi* UCHIDA (1926), *C. femoralis* MOC-SARY (1890) の2種が知られておる。

本邦産3種の差別。(雌)

- A. 体色は青藍色を主とす.....*galloisi* UCHIDA
B. 体色は黒色を主として腹部に赤褐色紋あり.....1及2。
1. 前胸背の前縁。殊に前縁に近き横溝より以前は著しく狭まる。胸部上面の體色は黒色の中に緑色がかりたる光澤あり且つ中胸側に著しく緑色に光りたる部分あり。前伸腹節に斜溝ありて中央に三角形の部分に圍む。縦條隆は細かし.....*japonicus* nov.
2. 前胸背の前縁。殊に前縁に深き横溝より以前は著しく帯狀に膨れる。胸部に緑色の金屬光澤を缺く。前伸腹節に斜溝を缺き、稍や扁平にして、縦條隆は粗し。後縁角は顯著に突出す.....*satoi* nov.

Cleptes japonicus sp. nov.

セイボウモドキ

雌標徴：(Fig. 1) 體長 5.0—5.5 mm. 前翅長 4.5—5 mm. 後翅長 3.0—3.5 mm.

體は黒色。胸背に緑色の金屬光澤あり。特に胸側翅下の一小部分(epimerum)は著しく光る。第1腹背節の大部分。第2腹背節の兩側の大紋。第3腹背節兩側の小紋及び第1・2腹面節は赤褐色。觸角基節は赤褐色。鞭狀部第2節の後半。第3節全部。第4節の前半は褐色。中には腹背節の斑紋明瞭ならず腹部全體に赤褐色なるものあり。觸角に就いても同斷。前基節及び3腿節の大部分を除ける肢部は褐色。

頭部は横位にして丸味を帯ぶ。點刻を密布し黒色の細毛を密生す。複眼は横位にして前胸背前縁と同巾。頭頂と前額は膨出す。單眼は3個3角形に頭頂に位置す。前・後間は後・後間より短し。後・後間は夫等各個と複眼間より稍や短し。額面は稍や凹面。觸角基部は頭頂の上部に接し、鞭狀部は太く長く膝狀12節より成る。第1節は最も長く、第2・3・4節を合したるものより長し。第3節は第2・4節何れよりも長く、他は殆んど等長。口部は褐色。大顎は短く中廣く、先端に3齒あり。

胸部は粗大の點刻を以て被はれ黒色の微毛を密生す。前胸背は長く稍や圓筒形。側篇にして頸狀を呈す。頭部より巾狭し。前縁は徐々に狭まり、後縁は著しく擴つて中胸背に絡る。中央より稍や前方並びに後方に深き横溝あり。前部

の側篇には鮮やかなる横皺あり。中胸背は稍や膨出し、4縦溝あり。稜状部は扁平にて點刻細かし。後稜状部は著しく凸出す。中胸背は膨出し、斜線の横皺を装ふ。顯著にして深き斜溝ありて三角形の部分形成し、その表面に不規則なる數本の縦條隆あり。後縁角は顯著に突起す。翅は透明。稍や黧甲色澤あり。翅脈は褐色乃至強褐色。前翅は前縁室、中室。第1盤状室。經室を完備す。第1亞中室は先端にて開く。第2亞中室は不完全。他は缺く。後翅は中室のみ僅かに判然す。肢部は細く長し。腿節・脛節は普通。跗節端は暗色にして爪の下面中央近くに1齒あり。腹部は半腹柄形。背面及腹面は膨出す。側篇は後方に向つて一點に集中したる卵形。4腹節よりなり。表面點刻を缺き光澤に富む。所々に灰色の微毛を密生す。産卵管は管狀にして先端は鋭し。第3・4腹節を合したるものより長し。

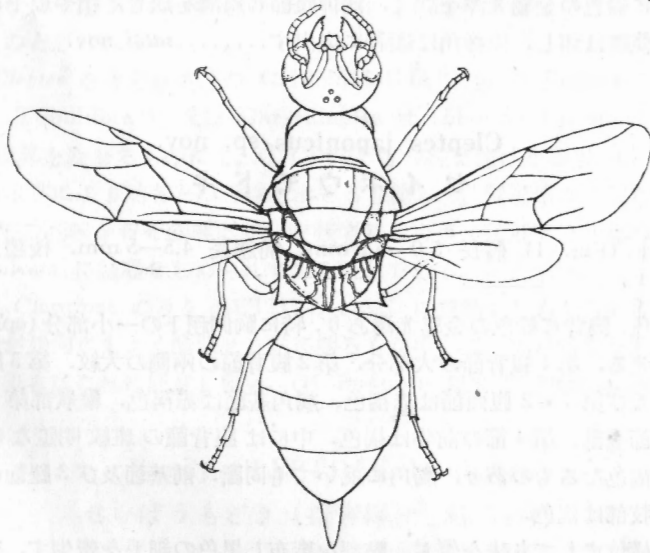


Fig. 1. *Cleptes japonicus* sp. nov. ♀

雄標徴：體長 5.5—7 mm. 前翅長 5 mm. 後翅長 3 mm.

頭部及胸部は黒綠色にして青蜂に類したる著しき金屬光澤を呈す。腹部は黒褐色。第1腹節及各腹節間に不明瞭なる褐色の部分あり。觸角は絲狀先端に向つて徐々に細し。肢は前肢及中・後肢の脛節後半・跗節は褐色。

産地：小諸近傍（長野縣淺間山麓）I—VIII—1926 著者自身の採集したる4♀、2♂を基本種として記載す。

備考：著者は當時尙多くの個體と共に3尺位の高さの笹藪の中にて採集したり。

Cleptes satoi Sp. nov.

サトウセイボウモドキ

雌標徴：體長 6.5 mm. 前翅長 4.8 mm. 後翅長 3 mm.

前種に甚だよく似たるも體は金屬光澤を缺きたる黑色。腹部の赤褐色模様は顯著なり。觸角鞭狀部 2—4 節は黃褐色。肢部は褐色。各腿節後半は黑色。前胸背はほぼ圓筒形にして前緣部は帶狀に膨れる。前伸腹節は斜溝を缺き、やゝ扁平にして縦條隆は低く、且つ間隔は粗く、各條間に横條を裝ふ。後緣角は顯著に突然するも尖らず。

雄標徴：體長 6 mm. 前翅長 4 mm. 後翅長 3 mm.

雌に酷似するも稍や瘦形。頭胸部菁藍色。腹部黑褐色（第 1・2 腹背節兩側に赤褐色紋）、肢部は黑藍色、但し脛節附節は黃褐色。

產地：天見（大阪府南河内郡）4—VI—1934；20—VI—1937。洞川、（奈良縣吉野郡）10—VII—1938 佐藤納氏採集の 2 ♀ 2 ♂ により記載す。

参 照 文 献

- ASHMEAD, WILLIAM H.: Classification of the Fossorial, Predaceous and Parastic Wasps, or the superfamily Vespoidea (The Canadian Entomologist. London, Vol. XXXIV. No. 9.) Sept. 1902. p. 221—231.
- BINGHAM, C. T.: The Fauna of British India, including Ceylon and Burma. Hymenoptera Vol. II. London. 1903. p. 417—8).
- BUYSSON, ROBERT DU: Les Chrysidés in ANDRE—Species des Hyménoptères d'Europe & d'Algérie Tome 6 me Gray, 1891. p. 62—93. pl. IV—VI.
- COMSTOCK, JOHN HENRY: An introduction to Entomology 2nd Ed. Ithaca, 1925. p. 934—935.
- DAHLBOM, ANDREA GUSTAVO: Hymenoptera Europaea praecipue Borealia Tom. 2dus Chrysis. Berolini, 1854. p. 1—23.
- DALLA TORRE: Catalogus Hymenopterorum. Vol. VI. Chrysididae. Lipsiae, 1862. p. 1—6.
- FRIESE, H.: Die Bienen, Wespen, Grab- und Goldwespen (Die Insecten Mitteleuropas insbesondere Deutschlands Band. 1 Hymenopteren Erster Teil.) Stuttgart. 1926. p. 184.
- HANDIRSCH, ANTON: Handbuch der Entomologie Band III. Jena, 1925. p. 785—7.
- HEDICKE, H.: Hautflügler, Hymenoptera—Die Tierwelt Mitteleuropas Bd. V. Insekten 2. Teil. Leipzig, 1930. p. 84—85.
- IMMS, A. D.: A General Textbook of Entomology 1st Ed. London, 1925. p. 575.
- MOCSARY, ALEXANDRO: Monographia Chrysididarum. Budapestini, 1889. p. 25—61. Tab. 1.
- RADOSZKOWSKI: Fedtschenko Voyage au Turkestan, Chrysididae Moscou, 1877. p. 1. n. 1. T. 3, F. 3.
- SCHMIEDEKNECHT, OTTO: Die Hymenopteren Mitteleuropas. 1st Aufl. Jena, 1907. p. 300—5.
- SHARP, DAVID: Insects Part II.—The Cambridge Natural History Vol. VI. London, 1922. p. 1—4.
- TASCHENBERG, E. L.: Die Hymenopteren Deutschlands. Leipzig, 1866. p. 146—9.
- TRAUTMAN, W.: Cleptidae—SCHMIEDEKNECHT'S Die Hymenopteren Nord- und Mitteleuropas. 2st Aufl. Jena, 1930. p. 485—6.
- 内田登一：本邦産胸細蜂科 Bethyilidae に就て（動物學雜誌 東京. 1926. 第八卷 181—186頁